



3

伊藤 香織

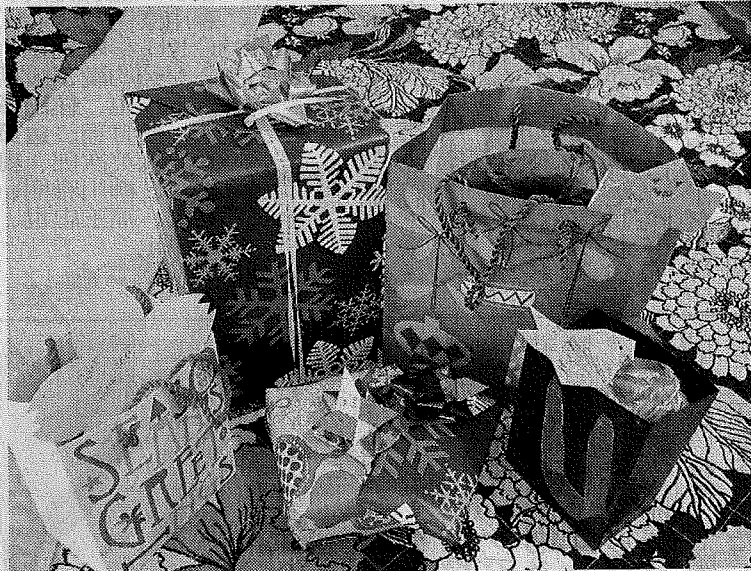
今回はアメリカでのクリスマスの様子をお伝えします。

私の家ではクリスマスイブからイベントが始まりました。まずはクッキー作り。アメリカではクリスマスにはケーキではなくクッキーを作る伝統があります。クッキーとミルクを一緒に置いてサ

ンタを迎えるためだぞつです(クリスマス当日にはそのクッキーとミルクはちゃんとなくなっていました！)

夕方のクリスマスパーティーには多くの人が訪れました。たくさん料理が並び、先月紹介したThanksgiving day(感謝祭)のようでした。そして夜はパジャマパーティー。これは私のホストファミリーが近所の方と一緒に毎年やっているもので、全員がパジャマに着替えてイルミネーションを見にドライブをするというものでした。

著者がホストファミリーに渡したプレゼントと折り紙



クリスマスで絆深まる

まずはクッキー作り

キャラクターのバルーン、ヤシの木のイルミネーション、木にライトをくぐる巻きつけるなど、競い合つよつよつにどの家もきれいに飾られていました。普通の住宅街でしたが、多くの人が外のスクリーンで音楽を流したり、サンタクロースと記念撮影をしたり、泡の雪を降らすなどお祭りのようでした。

クリスマス当日はたくさんプレゼントが届き、あまりにも多くすべてで見ていると午前中は終わってしまいました。一番うれしかったのは、プレゼントを入れる靴下がホストファミリーの分と並んで私の分もあったこと。家族の一員になれる

たよつに感じました。私もホストファミリーにプレゼントを用意しましたが、それぞれ気に入ってくださり、また一緒に添えた折り紙をとても褒めてくれました。ホストマザーのご両親の家でもプレゼント交換があり、「あなたは日本人の私たちの娘」と言ってもらいました。

私は皆さんから本当に多くのものを与えられてばかりで、何を返せるのだろうと考える毎日です。このクリスマスは、ホストファミリーとの絆を深められた良いイベントになりました。

(鳥取県湯梨浜町出身
アメリカ留学中)

(月一回掲載)